

「神紅」の産地化への挑戦 ～「神紅」がくれた繋がり～



JAしまね 島根おおち地区本部
営農部 営農企画課 益田 佑一

概況

島根県の中央南部に位置し、中国地方最大の1級河川江の川が流れている。標高50～450mの典型的な中山間地域で水稻栽培を中心に園芸品目の栽培に取り組んでいる。中小の圃場が大半を占めるなか、少量多品目での営農を行っており、年間を通じて収入を得ることの出来る営農指導に取り組んでいる。広島県に約1時間の立地もあり、広島県をはじめ山陰各市場と取引を行い販売先のニーズに応える産地を目指している。

令和7年度 園芸品目作付面積

品目	栽培面積 (ha)
白ねぎ	7.9
ぶどう	4.9
ミニトマト	2.4
ナス	2.5
たまねぎ	1.5
ブロッコリー	3.5
ピーマン	1.7
広島菜	9.0



「神紅」に取り組むきっかけ

- ▶ 担い手の高齢化・農業従事者の減少 地域農業の維持を危惧
- ▶ 水稲に依存しない農業へ 経営農地 約88% 水田（邑南町）
- ▶ 新規就農者を呼び込める「魅力ある品目」の模索



島根県育種品種「神紅」



新規就農者

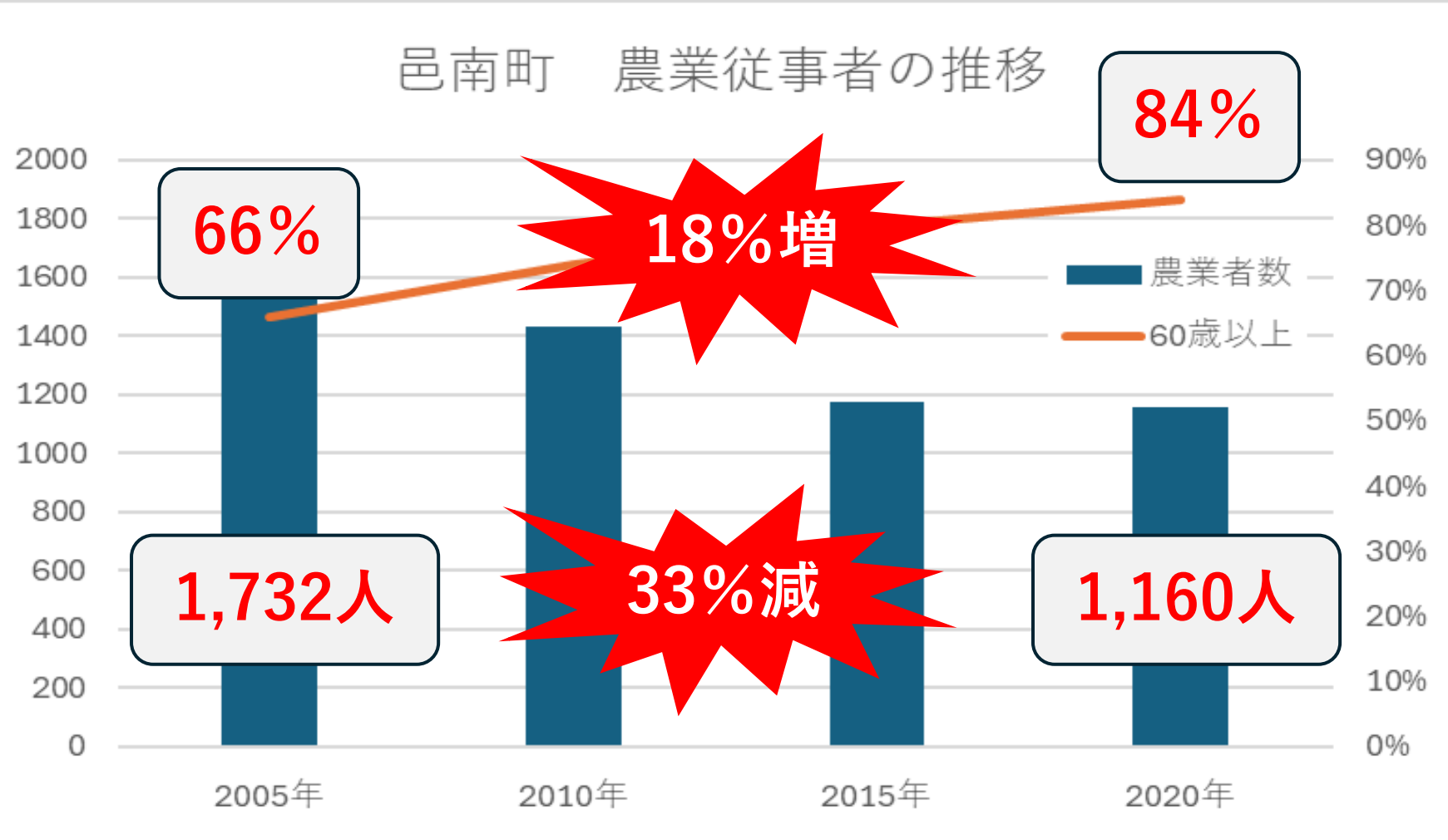
新たな産地化

ゼロからの産地づくり

邑南町果樹産地づくり協議会

様々な課題を提議し、より具体的な協議を行う

- ▶ 会員 認定農業者 邑南町 JAしまね島根おおち地区本部
- ▶ オブザーバー 島根県西部農林水産振興センター 県央事務所 邑智農業部



目指すべき姿

現状の把握

ギャップ

アプローチ

PDCAサイクル

邑南町果樹産地づくり協議会

課題を提議、より具体的な協議・検討

生産者

- ▶ 地域おこし協力隊を活用した1ターン
- ▶ 経営モデル

施設整備

- ▶ ハウス等設備
- ▶ 取水井・電気引き込み等

栽培

- ▶ 栽培技術の習得
- ▶ 指導体制の確立

販売

- ▶ 共販出荷
- ▶ 良品質・安定出荷

組織

- ▶ 生産部会 取引対策委員会
- ▶ 仲間づくり



島根県



邑南町

仕組みづくり

産地化へ向けた仕組みづくり

役割を明確にした取り組み



邑南町

- ▶ 研修事業の実施 企画・運営
- ▶ 経営計画の作成支援



島根県

- ▶ 技術指導
- ▶ 「神紅」のブランディング



JALまね

- ▶ JAリースハウス事業の実施
- ▶ 各種事業の活用

- ▶ 集出荷・販売
- ▶ 出荷目合わせ会・荷造り研修会の実施

- ▶ 農業の基礎研修
- ▶ 栽培講習会・巡回指導の実施

- ▶ 生産部会の設立
- ▶ JAとの関わり

農業研修制度



リースハウス

リースハウス
イメージ図



農業研修制度

「地域おこし協力隊」制度を活用した3年間の農業研修制度

○ 主な活動内容

1年目：基礎研修

農業の基礎を講習会や栽培を通して学ぶ

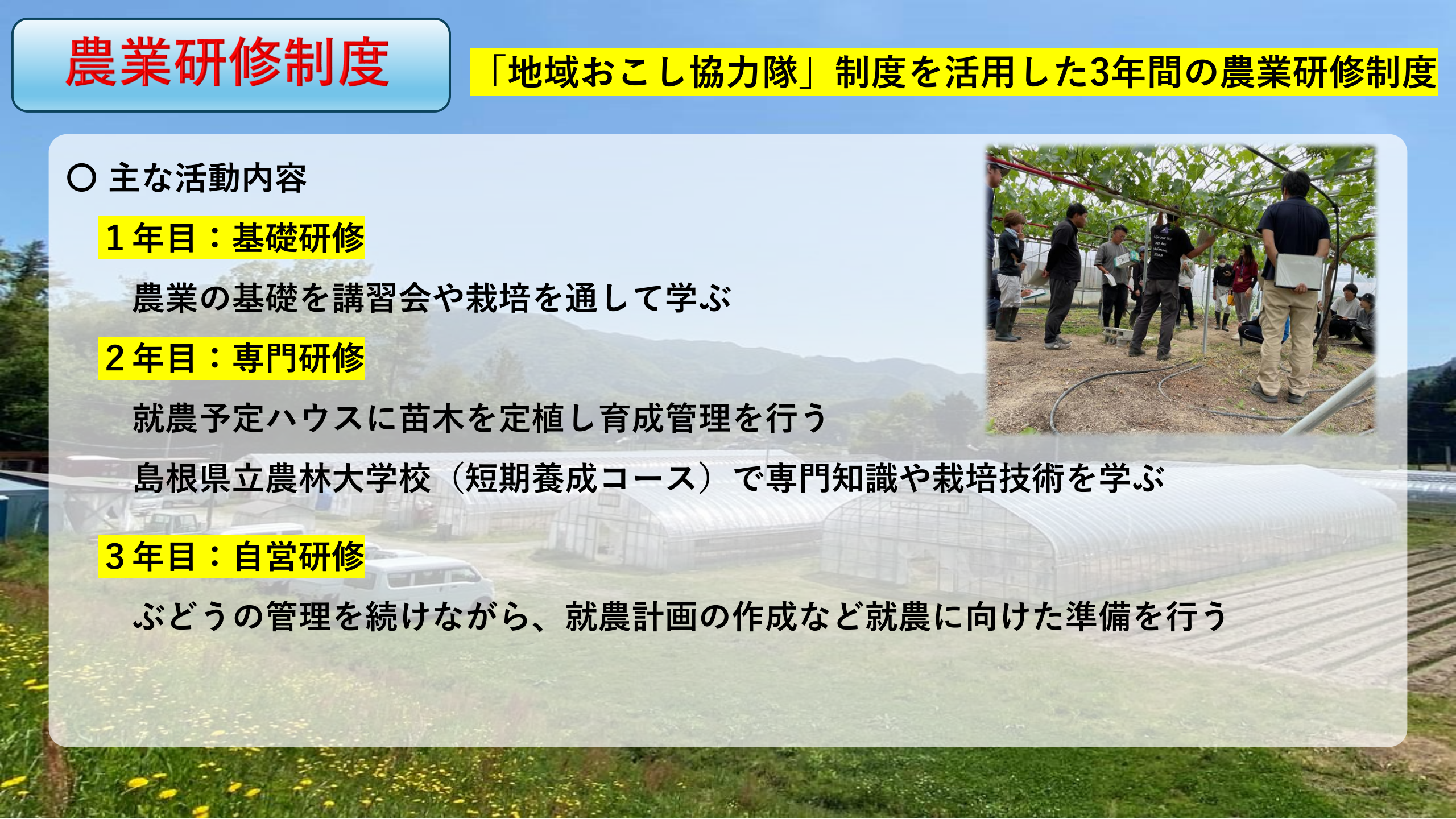
2年目：専門研修

就農予定ハウスに苗木を定植し育成管理を行う

島根県立農林大学校（短期養成コース）で専門知識や栽培技術を学ぶ

3年目：自営研修

ぶどうの管理を続けながら、就農計画の作成など就農に向けた準備を行う



神紅の経営モデル

リースハウスを活用した経営モデル

○神紅 30aで就農

・栽培方法

一重被覆	無加温	14a
二重被覆	無加温	16a

・収支試算

販売額	9,993,600円
経費	4,857,128円
所得	5,136,472円

所得率
51.4%

・年間総労働時間

2,415時間 (自分+家族+雇用)

○神紅 20aで就農

・栽培方法

一重被覆	無加温	10a
二重被覆	無加温	10a

・収支試算

販売額	6,636,000円
経費	3,173,743円
所得	3,462,257円

所得率
52.2%

・年間総労働時間

1,610時間 (自分+家族+雇用)

リースハウス事業

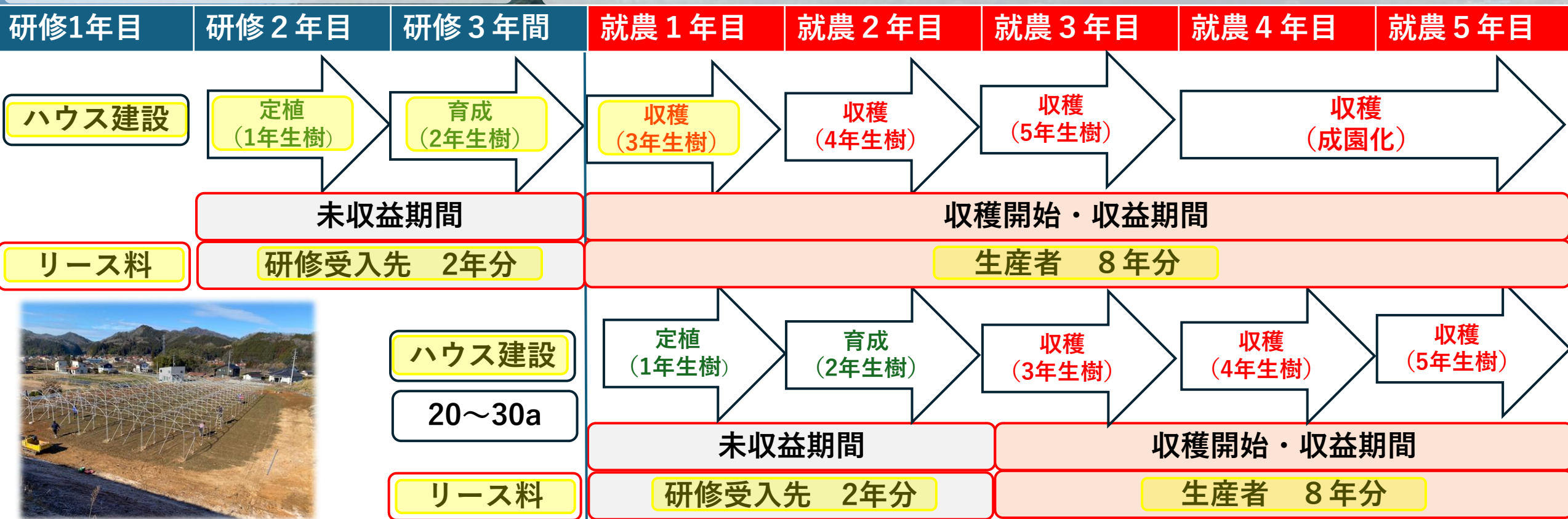
JAリースハウス事業を活用した施設整備

ぶどうでの新規就農への課題

- ・設備投資が大きい
- ・未収益期間がある

JAリース事業（リース期間10年）と研修の仕組み

- ・研修期間中にハウス建設と「神紅」の定植・育成管理
- ・リース期間10年のうち、2年間は研修受入先が支払う
- ・就農1年目から3年生樹となり、収穫が可能



リースハウス事業

JAリースハウス事業を活用した施設整備

ハウス及び付帯設備

- ・ 国庫事業 「産地生産基盤パワーアップ事業」
- ・ 県単事業 「地域主導型産地創生支援事業」 「ハウス等整備事業」
- ・ 町単事業 「邑南町農業用ハウス等リース支援事業」
- ・ JA助成 「リース料補助」

国：17/100 県：25/100 町：20/100 JA：8/100 生産者：30/100

基盤整備（区画整理・暗渠排水）

- ・ 国庫事業 「農地耕作条件改善事業 or 畑作等促進整備事業」

国：55/100 県：15/100 町：30/100

新規就農時の支援

JAリースハウス事業を活用した施設整備

JA支援内容

- ・ JAしまね農業振興支援事業 新規就農のためのスタートアップ支援 (農業資材一式)
- ・ 水稻・園芸・畜産振興計画 ぶどうの振興 出荷量増大に向けた対策 (出荷用DB助成)
出荷用園芸土づくり対策 (堆肥購入助成)

邑南町支援内容

- ・ 邑南町地域おこし協力隊起業・事業承継支援補助金 予算 100万円/人 町10/10 定額

国・県支援内容

- ・ 経営発展支援事業・経営開始資金
- ・ 担い手経営発展支援事業 自営就農開始支援事業

関係機関による支援

団地化による農地確保

就農へのハードルは大きく下がる！！

栽培技術の習得

島根県農業改良普及職員と協力した営農指導

栽培講習会・巡回指導の実施

農業技術センター・県央普及部 農業普及員

適期作業の確認

生育状況の共有

安心して栽培

経験値

自信



課題の整理

- ①着色向上
- ②作型分散
- ③糖度上昇



栽培の課題解決に向けた取り組み

○農山漁村振興交付金（中山間地農業推進対策） 令和6年から継続中

①着色向上対策

- ・ 反射マルチ
- ・ 液肥



②作型分散

- ・ 二重被覆
- ・ 簡易ストローブ



良品質な「神紅」の生産

販売

島根ぶどう共販に向けた取り組み



県内先輩産地視察



県全体目合せ会



出荷目合せ会・荷造り研修会の実施



規格品率

令和5年度
56%

令和6年度
80%

令和7年度
85%

令和8年度 目標90% 良品質な「神紅」の出荷

組織

生産者が主体となる組織づくり



西いわみぶどう部会



出雲ぶどう部会



大田市ぶどう生産組合

意義

仲間

部会力

島根おおちぶどう部会設立！！



島根おおちぶどう部会

令和7年度

会員数：15名

販売金額：約6,000万円（町総生産額）

生産反収：530kg/10a（未成園含む）

令和12年度 目標

会員数：27名 12名増！

販売金額：1億2,000万円（町総生産額）

生産反収：1,200kg/10a（未成園含む）

産地づくりの核

【令和8年度 活動計画案（案）】

										(敬称略)																																							
事務局										専門部																																							
会長					副会長					会計					担い手部長					監事																													
氏名		はらやま		寺本(秋)		鹿子原		アグサボ		石井(湧)		アグサボ		出羽		広瀬		寺本(直)		寺本(秋)		鹿子原		日向		森村		はらやま		石井(湧)		辻		岡村															
サポート機関										J A (事務局、町、県)										邑南町 (高橋)										J A (前田、益田)										邑智農業部 (中尾)									
・会員名簿の整理（毎年総会時） ※新規就農者を漏れなく参加してもらう ・栽培園地台帳の整理、会員連絡網の確立（毎年総会時） ・神紅協議会役員会の出席と報告会 ・ぶどう取扱対策委員会の出席と報告会 ★ミーティングの実施 →R7年度に限り活動を実施										・就農相談会（就農相談、フェア、バスツアー等）への参画（先輩として） ・就農前研修への参画（産業体験生受け入れ等） ・卒業生の研修生受け入れ ・新年度事業説明会【新】										・出荷計画のとりまとめ ・共同出荷時の検査・出荷・市況等のフィードバック（連絡網による） 【新】 ・販売促進活動（産直、市場、量販店） ・新たな販売先の開拓（加工用神紅等）										・栽培講習会の実施 ・視察研修会の実施（県内・県外） →ランチミーティングの開催 →(各園場回り)【新】 ・技術、病害虫、気象情報の提供（連絡網による）【新】 ・邑南町独自の栽培層策定【新】																			
月別	活動項目		(対応)		活動項目		(対応)		活動項目		(対応)		活動項目		(対応)																																		
4月	ぶどう取対① ★ミーティング		報告会		就農相談・産業体験（随時）				出荷計画作成②		販路開拓		栽培情報提供(随時)		講習会(芽かき)																																		
5月					就農フェア(広島)								講習会(花切り)																																				
6月	★ミーティング								J A 統一目合わせ会				講習会(GA処理)																																				
7月					就農フェア(大阪)				荷造り研修会				講習会(摘粒)																																				
8月					就農バスツアー				邑南町出荷目合わせ会		検査開始		視察研修(農技)		中尾・はらやま																																		
9月									販促・PR				講習会(土壌改良)		中尾・はらやま																																		
10月	★ミーティング		神紅役員会①						検査終了				視察研修(県外)																																				
11月			報告会																																														
12月	★ミーティング								出荷反省会				栽培実績検討会		全員																																		
1月	部会役員会		神紅役員会②		次期アグサボ生選考				販売方針策定				栽培層検討会		全員																																		
2月	部会定期総会		★ミーティング										次年度栽培講習会																																				
3月									出荷計画作成①				講習会(次期作)																																				

島根おおちぶどう部会とJA事業への貢献



「神紅」を核とした

ぶどうの産地化

- ▶ 新規就農者 ぶどう **8名** (令和8年度 3名予定) 平均年齢 **39.5歳**
- ▶ 研修生 **10名** 平均年齢 **37.2歳**
- ▶ 法人経営の多角化【水稻 + 神紅】 **3件** 神紅栽培面積 **75a**

令和7年度実績	栽培面積 (a)	JA共販出荷量 (t)	JA共販販売額 (千円)
神紅	380	353% 6.3	333% 23,153
シャインマスカット	100	669% 1.2	621% 2,468

令和7年度実績 神紅	島根おおち	県全体	割合
共販出荷量	6.3 t	17.9 t	35%
総出荷量	12.7 t	26.8 t	47%

- ▶ 正組合員数 増加
- ▶ JA事業利用 増加
- ▶ 営農指導員 指導力
- ▶ 県内シェア トップ

1ターンからの新規就農をJA総合事業でサポート

コメント

▶ 新規就農者より

「研修から今まで、非常に支援してもらっている。相談事もしやすい。**JAとの繋がりも営農指導員との信頼関係**があるから。引き続きお願いします。」

▶ 研修受入れ先より 合同会社アグリサポートおーなん

「研修内容や圃場での営農指導・経営指導・営農計画の作成など頼りにしている。**神紅の道を確立**してもらえた。非常に心強く、頼りにしている。」

▶ 邑南町 産業支援課 高橋駿人

「「ゼロからの産地化」においては、JAリースハウス事業に取り組んでいただいて、就農者の負担軽減、未収益期間の縮減に繋がっており、大きな強みとなっている。町だけでは産地化の取り組みを始めることさえ難しかったと思うが、現在に至るまで**関係機関が一体となり推進することで事業が成り立っている。JAと営農指導員の前向きな姿勢も産地化が進んでいる要因**である。引き続き一緒に取り組んでいきたい。」

「邑南町ではこれまでぶどうの産地ではない中で、島根県開発の新品種である神紅を核として、ほぼゼロからの産地づくりに挑まれました。**地域としてノウハウの少ない中で、試行錯誤と工夫を繰り返し、今、少しずつ成果がでてきた**と思います。まだ発表間もなく評価の定まっていなかった神紅を核として、他産地の先駆け、新規就農者を呼び込み、地域に定着をさせるという取り組みには、県の立場から見ながらも、相当の**勇気がいる挑戦**であったと思います。しかし、生産者・JA・邑南町を中心に、誰一人後ろ向きな発言を聞くことなく、**みんなで一丸となって取り組んでいる**姿は印象的でした。特にJAの益田さんの姿勢は、常に明るく前向きであり、研修事業、リースハウス事業、部会設立・共販運営など、JAの担う役割は産地づくりには欠かせぬ内容であると同時に、業務の激増は不可避となる中でも、前向きに取り組んでいただき、大変心強かったです。**生産者・他産地・関係機関を結びつける役割として大きな存在**です。引き続き、産地の拡大を目指して、一緒に頑張りましょう！」

○ゼロからの新たな品目での産地化は、JAだけでは難しい。**関係機関と一緒に取り組む**

○Iターンから地域に定着することも難しい。**信頼を得ることが最も重要**

強い思いを持ち、周囲に影響を与える核となる

今後の取り組み

・「産地生産基盤パワーアップ事業」 3期計画策定中

	令和7年度 実績	令和8年度 計画	令和9年度 計画
ハウス整備面積	36.8a	47.6a	75.0a
リースハウス面積合計	457.0a	504.6a	579.6a
総出荷量	17.1t	34t	43t
総販売金額	60,758千円	77,181千円	94,237千円

- ▶ 邑南町 総出荷量 17.1 t (産パ事業2期計画 実績)
- ▶ 邑南町 総生産額 60,758千円 (産パ事業2期計画 実績)

「神紅」がくれた繋がり



ご清聴ありがとうございました

